



# NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会

ホームページ

<http://www.nishitokyo-dm.net>

## 今号の主な内容

担当理事からの挨拶とお知らせ	(1 P)
研究会等日程	(2 P)
管理栄養士勉強会 報告	(3 P)
事務局から	(4 P)

## 会員数

15. 9 現在

会員数	322 人
コメディカル会員	205 人
医師会員	117 人
管理栄養士派遣事業登録者数	28 人

## 担当理事からの挨拶とお知らせ

NPO法人西東京臨床糖尿病研究会副理事長 広報(HP)担当  
東京医科大学八王子医療センター 植木彬夫

糖尿病は生涯に渡る療養が必要であり、その長い罹病期間の間には様々な合併症が生ずる可能性がある。このために一人の医師が、すべてをカバーすることは困難である。また700万人にも上ると言われる糖尿病患者を、3000人余の専門医がすべてを診ていくことも困難である。多くの患者は、地域開業医がその責を担っている。このため西東京地域ではすでに昭和61年に、「第一線の実地医家への糖尿病に対する知識の普及と糖尿病診療に対するネットワーク作り」を目的として、近藤甲斐夫先生や伊藤真一先生が中心となり「西東京臨床糖尿病研究会」が発足された。この会は多摩地域の糖尿病専門医、中核病院と地域開業医との糖尿病を中心とした病診連携のモデルとして、国内でも最も活発な活動を行ってきた。

一方、糖尿病の治療は医師が薬やインスリン注射を用いることで、血糖値のコントロールや合併症の発症予防、進展阻止が出来るわけではない。栄養指導、生活指導はもちろん歯の手入れから足の管理まで様々な指導・支援が必要である。そしてこれらの中心の担い手は看護師、管理栄養士、薬剤師などのコメディカルである。このため研究会では病診連携の枠をさらに糖尿病に関するあらゆる医療連携へと発展させていった。糖尿病の治療は、患者の自己管理が最も重要であることは言を待たないが、正しい知識と的確な技術の教育こそが要であり、その担い手がスキルアップを目指すことは、糖尿病の治療に携わる者の義務でもある。この精神を確固たるものにするため、「西東京臨床糖尿病研究会」は去年NPO法人化した。その事業の一つが、全国でも数少ない地方糖尿病療養指導士認定の実施である。

またもう一つの大きな事業が、西東京地区における様々な糖尿病関連の研究会への支援である。研究会開催の情報宣伝、あるいは経済的、人的支援を行うことで間接的に西東京地区における糖尿病治療の発展、レベルアップに貢献している。そしてこれらの情報は、この会報とホームページ(<http://www.nishitokyo-dm.net>)を媒体として行っている。このHPには会員の行う行事や研究会などの掲載をもって他の会員への周知案内を目的としている。糖尿病治療は、患者と医療者が一体となって行わなければならない良い結果は生まれない。一体になるということは、患者や医療者間で情報を共有することである。特に医療者間での情報の共有のうち診断基準、治療方針などの共通化は、患者の混乱を避け信頼を得る最も基本的な事項である。その情報の発信元としてこの会報やHPが役に立つよう育てていきたいと思う。

NPO 法人

西東京臨床糖尿病研究会

# 研究会等日程案内



## ◇NPO 法人西東京臨床糖尿病研究会第34回例会 (◆)

平成15年10月18日(土)、午後2時半～5時40分、七生公会堂(高幡不動駅より徒歩7分、ちらしを参考になさってください)。会員の方は無料です。予約の必要はありません。当日、会場へお出で下さい。会員外の方は、受講料1000円です。往復はがきで、事務局までお申し込み下さい。

◆西東京糖尿病療養指導士認定更新単位6単位、認定番号008号。日本糖尿病療養指導士認定更新単位1単位、認定番号668号。

★会報第2号で、第34回例会の西東京糖尿病療養指導士認定更新単位を3単位としてお知らせ致しましたが、更新制度改定により、認定更新単位6単位とさせていただきます。

## ◇東京都糖尿病協会第4回糖尿病予防講演会

平成15年11月1日(土)、午後1時～4時40分、小金井公会堂(JR中央線武蔵小金井駅より徒歩5分、ちらしを参考になさってください)。会員の方、会員外の方、ともに受講料無料です。予約の必要はありません。当日、会場へお出で下さい。

◆西東京糖尿病療養指導士認定更新単位2単位、認定番号009号。日本糖尿病療養指導士認定更新単位1単位、認定番号741号。

## ◇第10回多摩糖尿病チーム医療研究会 薬剤師分科会 (◆)

平成15年11月20日(木)、午後7時～9時。国分寺Lホール(国分寺駅ビル)。  
詳細は追ってお知らせ致します。

### ★糖尿病療養指導士の認定更新について★

NPO 法人西東京臨床糖尿病研究会の直接事業研究会(タイトルの後に◆マークが付いています)もしくは間接事業研究会及びその他の認定講演会等(◆)に参加なさると更新のための点数が加算されます。上記の各研究会等にご参加の際は、必ず芳名帳へのご記入をお願い致します。

ご記入のない場合は、ご参加いただいてもカウントされません。

単位数が記入されていない講座につきましては、単位数が決定され次第、順次会報でお知らせ致します。



&lt;吉田先生と授業風景&gt;

さる8月30日(土)、当研究会直接事業のひとつ「管理栄養士勉強会」は、東京都立立川短期大学名誉教授の吉田勉先生を迎えて、開催されました。

高村先生(高村内科クリニック)から報告が届きましたので、皆様にお知らせ致します。

2003年8月30日(土) 午後2時~4時 アイム立川  
講演「健康と食」

講師 吉田勉先生(東京都立立川短期大学名誉教授)  
報告者 高村宏先生(高村内科クリニック)

この講演会は当NPO法人に所属する管理栄養士を対象として企画され、当日の参加者は36名、その大半が病院、個人医院で仕事をされている人たちでした。

ご講演は下記の4部構成で進められました。

1) 健康の条件 2) 食糧問題 3) 食品の表示 4) アメリカの栄養士制度

以下に要約を書きます。

- ① 健康の条件の中で、食は大きな要因であること、食は嗜好性、経済性、便宜性も重要であるが、栄養性、安全性はさらに重視しなければならない。
- ② 栄養士としては食品に関わる感染症、食品添加物、農薬などの知識が必要である。
- ③ 食糧問題は食品の原料の輸出入や畜産物の飼料の窒素効率(何グラムの餌で何グラムの肉が生産されるか)など社会全体の中で捉えなければならない。特に牛肉は窒素効率が悪い。
- ④ 水に関しても先進国では効率の悪い利用がされている。
- ⑤ 食品表示は成分表示と日付表示があり、日本は成分表示が不十分である。アメリカでは成分表示が徹底されているが日付表示がない。
- ⑥ 食品表示はその国の食文化を表している。日本は食品表示では後進国である。
- ⑦ 表示から除外されている成分もある。例えばウーロン茶のナトリウム。
- ⑧ 食品の成分にはマイナス要因もあること。例えば大豆のフィチン酸。
- ⑨ アメリカの栄養士制度は、厳しい認定制度があり栄養士の社会的評価も高い。しかし病院中心に構築されてきたところに問題がある。

&lt;授業風景&gt;



ご講演は以上の様に広範に渡り大変解かりやすくお話し頂きました。普段病態栄養や患者教育の講演会が中心ですので、改めて食の基本を考える良い機会になったと思います。

参加した管理栄養士に対し、後輩を育てるようというお言葉を頂きましたことをご報告しこの稿を終わります。

# 事務局から



■ 訂正 会報第2号でご紹介致しました、糖尿病食が食べられるレストラン「ビストロマスタッシュ」の住所は国分寺市ではなく国立市の誤りでした。正しい住所は「国立市富士見台 1-4-4 松井ビル 1階」です。訂正致します。

## ■ 連続12回講座締め切る

今月9月8日に、「平成15年度NPO法人西東京臨床糖尿病研究会連続12回講座」の申し込みが締め切られました。今年度の申し込み受講者は総勢191人。西東京地区以外にお住まいの方からも多数の問い合わせがありました。ありがとうございました。191人の受講者の皆様は、9月25日、30日の講座に臨みました。今回、前半6講義を受け持って下さる講師の先生方をご紹介致します。

9/25 第1講 I章 糖尿病療養指導士の役割・機能 <b>植木先生</b>	10/14 第4講 VI章 療養指導の評価 <b>西田先生</b>
9/30 第5講 II章 糖尿病の概念と療養指導総論 <b>吉元先生</b>	10/21 第10講 III章-6 糖尿病患者にみられる慢性合併症 神経障害・網膜症 <b>住友先生</b>
10/9 第6講 III章-1 診断と治療に関する知識 <b>大黒先生</b>	11/6 第2講 IV章 糖尿病患者の心理と行動 <b>原先生</b>

## ■ ホームページの開設、ただいま準備中

会員の皆様から、NPO法人西東京臨床糖尿病研究会のホームページ閲覧の方法についてのお問い合わせが何件かありました。ホームページのドメイン名は下記事務局住所欄を御参照下さい。コンテンツは現在作成中の部分がかかなり存在しますが順次拡充予定です。

グループウェアの登録法等含めて次の会報に記載する予定となっておりますのでお待ち下さい。



**NPO法人西東京臨床糖尿病研究会事務局**

〒185-0012

東京都国分寺市本町 3-10-22 オリентプラザ 402

電話 042-322-7468 (10:00~12:00・13:00~16:00)

fax 042-322-7478

E-mail アドレス [w\\_tokyo\\_dm\\_net@ybb.ne.jp](mailto:w_tokyo_dm_net@ybb.ne.jp)

ホームページ <http://www.nishitokyo-dm.net>

